

東大和市子ども・子育て支援会議 第1回議事録

会 議 名	平成25年度 第1回 東大和市子ども・子育て支援会議
開 催 日 時	平成25年8月21日(水) 14:00～16:00
開 催 場 所	東大和市立中央公民館3階 301学習室
委 員	(出席者)伊藤委員、寺山委員、水上委員、上田委員、坂本委員、佐々木委員、片野委員、 廣澤委員、山本委員、網干委員 (欠席者)杉本委員
事 務 局	榎本(子ども生活部長)、高杉(子育て支援課長)、関田(保育課長)、中村(青少年課長)、井上(狭山保育園 長)、渡邊(保育課保育・幼稚園係長)、原(子育て支援課手当・助成係長)、恵良(子育て支援課子ども・子育て 支援担当)
傍 聴 者	3名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 委員自己紹介 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1)会長・副会長選出について (2)諮問書について (3)ニーズ調査(案)について (4)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・東大和市子ども・子育て支援会議の概要について ・子ども・子育て支援新制度の概要について ・東大和市の子ども・子育ての現状と見通しについて (5)その他 <ul style="list-style-type: none"> ・次回会議日程について 6. 閉会
配 付 資 料	<p>[事前配付]</p> <p>資料1 東大和市子ども・子育て支援ニーズ調査(案)</p> <p>資料2 東大和市子ども・子育て支援会議の概要</p> <p>資料3-1 子ども・子育て支援新制度の概要</p> <p>資料3-2 子ども・子育て支援新制度に向けたスケジュール(案)</p> <p>資料4 東大和市の子ども・子育ての現状と見通し</p> <p>[卓上配付(参考資料)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大和市総合計画(第二次基本構想(改定)／第四次基本計画) ・東大和市次世代育成支援計画(後期) ・子育てハンドブック
会議の結果及び主要な発言	
部長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長・副会長選出について <p>会長が選任されるまで進行を担当します。条例により会長、副会長は委員の互選となっています。まずは、会長の選任について、いかがかでしょうか。</p>
委員	佐々木委員を推薦する。
部長	<p>佐々木委員を推薦ということで、いかがかでしょうか。</p> <p>(「異議なし」という発言あり、拍手あり)</p>

佐々木委員	では、異議なしということで、佐々木委員に会長をお願いします。 市のため、子どものために会長を務めさせていただきたい。 (暫時、休憩)
会長 委員	続いて、副会長の選任について、いかがか。 会長に一任したい。
会長 網干委員	では、網干委員に副会長をお願いしたい。 これからの子育て支援を考えるため、務めさせていただきたい。
部長	2. 諮問書について ここで、市長からの諮問を行います。 (市長より会長へ諮問書を交付、各委員へ諮問書の写しを配付) (市長退席)
会長 事務局	3. ニーズ調査(案)について 議事を進める前に、会議の運営について、事務局より説明願います。 条例により、支援会議の庶務は子ども生活部において処理することから、子育て支援課で事務局を担当します。 会議は原則公開となっており、運営要領に傍聴規定があります。議事録は事務局で要旨を取りまとめ、次回会議までに委員へ郵送します。
会長	本日、傍聴希望者は3名いるため、これより入室していただく。 (傍聴者入室)
事務局 会長	では、ニーズ調査(案)について、事務局から説明願います。 (資料1を説明) 国から示された調査票をもとに、資料1の調査票をまとめたことになる。制度の関係から大幅な修正は難しいが、市民が答え易くなるような視点から検討いただきたい。
副会長	新制度は平成27年度からで、計画は平成26年度にまとめなければならない。そのためには都との調整も必要で、9月までに計画の素案を作成する必要がある。そのためのニーズ調査である。 また、制度等の報告をしていただき、ニーズ調査の位置付けを把握してからの検討の方が効率的ではないかと考えるし、次の会議で検討することもあり得る。まずは、報告をしていただくことでいかがか。 事業者等の関係者であればある程度の情報は入るが、保護者からすればこの支援会議の意義やニーズ調査の意味などは、制度等の説明を聞いた方が分かり易いだろう。
会長 事務局 会長 委員 保育課長	4. 報告事項 では、報告事項をお願いします。 (資料3-1、資料3-2、資料4を説明)(途中、休憩10分あり) 質問や意見はいかがか。 待機児童の状況の説明において、4月1日を基準としている理由は何か。 基本的に国と東京都で、新定義での数字は4月1日が基準設定とされているため、4月1日を基準としている。

委員	実際に0歳児において、2～3月に出産されたお子さんでは翌年まで待っている人もおり、待機児童数の揭示もあるように、現実とは若干異なっていると思う。上のお子さんは入れたが、下のお子さんは入れなかったというように、0～1歳児のお子さんで悩んでいる親御さんもいる。
会長	この資料はこういう形ではあるが、実情として捉えておいていただきたい。
副会長	ニーズ調査において、潜在的な保育のニーズを把握して反映しなければならないだろうし、サービスの内容にも関わってくるだろう。
委員	ニーズ調査案の18ページにおいて、5歳以上の方への質問となっているが、実際に保育園に入れた家庭では、小学校入学以降のことを心配している方もいる。そのため、可能であれば、この部分も質問は5歳以上だけではなく、5歳以下のお子さんの家庭にも聞いてほしい。
会長	この点は、事務局で検討していただきたい。また、ニーズ調査の内容について、この場で意見を出し切るか、それとも、各委員で読み込んだ上で、9月に2回目の会議でニーズ調査案を審議するか、どちらが良いか。
委員	9月に2回目の会議で審議する方が良い。
会長	いただいた意見を反映させた質問で、集計が可能かどうかの検討が必要となるだろう。
副会長	現状が分からない親御さんもいるだろうし、先のことも不明確な家庭もあるだろう。
委員	もう一度集まって作業する時間はあるのか。
会長	皆様のご協力があれば可能であろう。
事務局	委員へ意見用紙を配付して事務局で回収し、技術的な部分を含めて検討し、第2回目の会議で諮る形で、事前に調整させていただきたい。意見用紙は今月末までで区切らせていただいて、進めさせていただきたい。
会長	8月いっぱいまで意見があれば出していただき、技術的な検討を含め、次回の会議で示す形で進めさせていただきたい。 (意見用紙配付)
	5. その他（次回会議日程—について）
会長	次回の会議日程について、9月後半となるが、時間や場所の関係から、具体的な日程は事務局と調整させていただき、決定次第、委員へ連絡することとしたい。
事務局	2回目は9月後半であるが、3回目において東大和市の現状を視察していただけたらと考えている。ご賛同いただけるなら、第3回目を視察にしたい。
会長	実情を視察する機会を設ければよいと思う。以上で、第1回目の会議を終了とする。